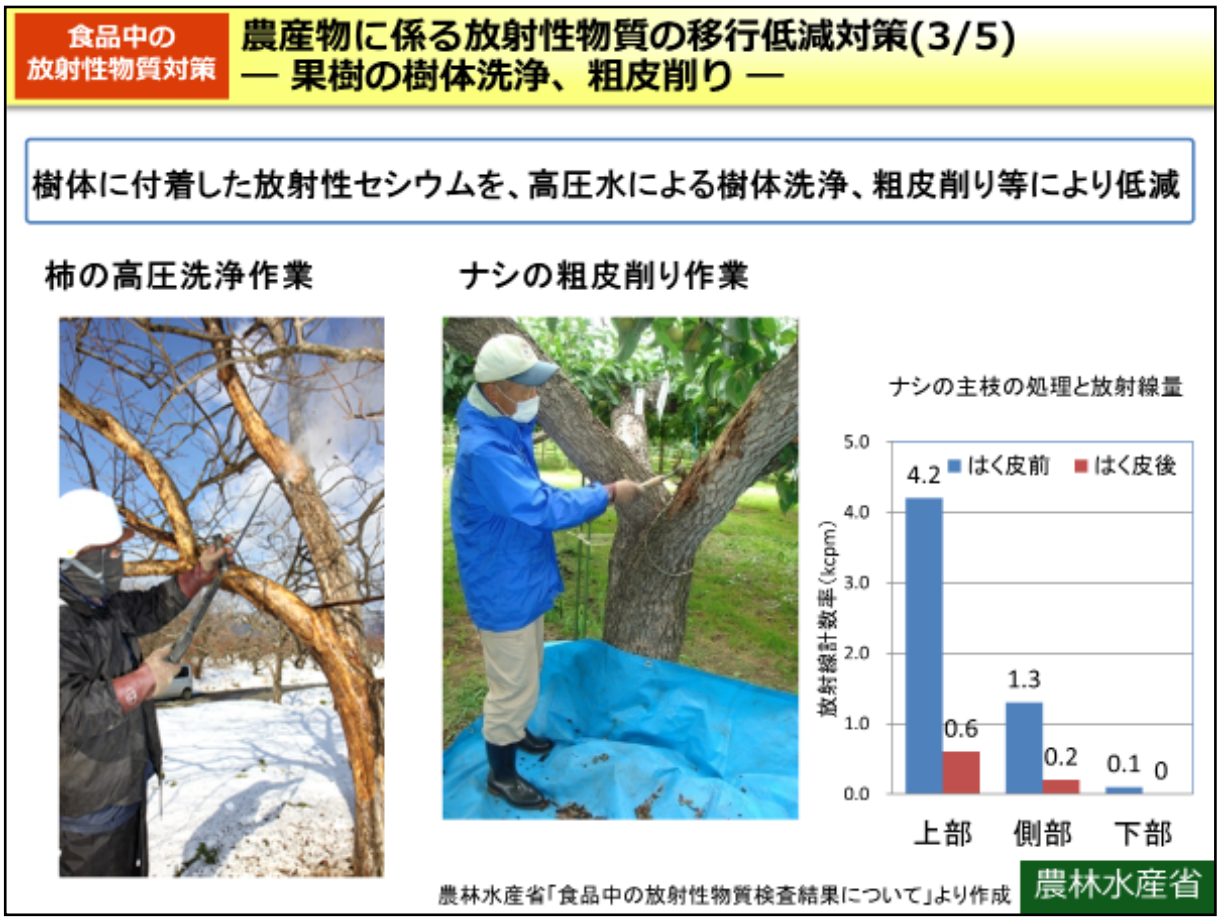

果樹では、樹体に付着した放射性物質が果実に転流することを防ぐため、高圧水で洗浄したり、粗皮（あらかわ）を削ったりすることにより、樹体の放射性物質を取り除く取組が行われています。

ナシでは、粗皮（あらかわ）削りにより、主枝の放射線量が９割近く低減するというデータも得られています。

本資料への収録日：平成25年３月31日
改訂日：平成29年３月31日